

# 北富士演習場「吉田の火祭り」



(御旅所(上吉田コミュニティセンター))

平成29年8月26日(土)、山梨県富士吉田市において、日本三大奇祭に数えられる「吉田の火祭り」が盛大に執り行われました。同市は当局の管轄する北富士演習場所在地でもあることから、地元の歴史・文化に触れるために堀地南関東防衛局長ほか局職員が「火祭り」を見学しました。

「吉田の火祭り(鎮火災)」は、同市に祭られる北口本宮浅間神社と諏訪神社の両社の秋祭りで、7月に「山開き」を行った富士山の「お山じまい」の祭りとして毎年8月26日、27日にかけて行われています。

祭りの行事は26日の午後、北口本宮浅間神社での神事後、2基の神輿(「お明神さん」と「お山さん」)が神社前から同市上吉田地区を勇壮に練り歩き、夕方に上吉田コミュニティセンターに設けられた「御旅所(おたびしょ)」と呼ばれる場所に奉納されます。

神輿が御旅所に到着すると寝かされていた高さ3mの大松明が世話人らの手によって引き起こされ、後藤山梨県知事、堀内富士吉田市長の手により点火され、神社からおよそ2km先の金鳥居下までの道路中央に建てられた大松明、各家ごとに井桁に積まれた松明にも点火され、町中が松明のまばゆい明りに照らされました。



(御旅所に後藤山梨県知事(中央)、堀内富士吉田市長(左)を訪ねた堀地南関東防衛局長(右))



大松明に点火する後藤山梨県知事(右の点火用松明)、堀内富士吉田市長(左点火用松明)



大松明に照らされた金鳥居からの浴道

この「火祭り」が終わると富士北麓に秋が訪れ、北富士演習場内も薄や茅が茂り、紅葉に包まれていきます。

最後に南関東防衛局及び吉田防衛事務所は、地元行事に積極的に参加し、地元との架け橋になっていけるよう努力します。